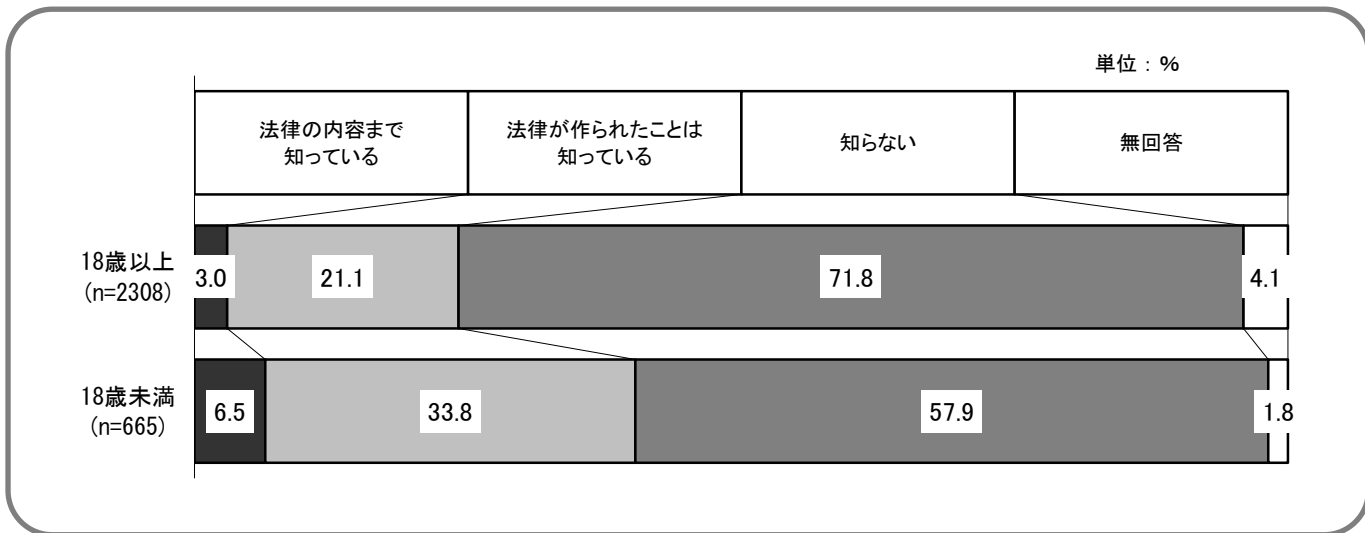


(2) 障害者差別解消法の認知度 (18 歳以上 問 30 / 18 歳未満 問 29)

問 あなたは、平成 28 年 4 月に「障害者差別解消法」が施行されたことを知っていますか。  
(○は 1 つ)

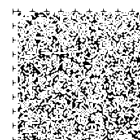
●18 歳以上で「法律の内容まで知っている」人は 3.0%。

■ 調査結果



「障害者差別解消法」の認知度については、18 歳以上では「法律の内容まで知っている」人は全体の 3.0%です。「法律の内容まで知っている」と「法律が作られたことは知っている」を合わせても、全体の 24.1%にとどまっています。

18 歳未満では「法律の内容まで知っている」人は全体の 6.5%です。「法律の内容まで知っている」と「法律が作られたことは知っている」を合わせた『知っている』層は、全体の 40.3%です。

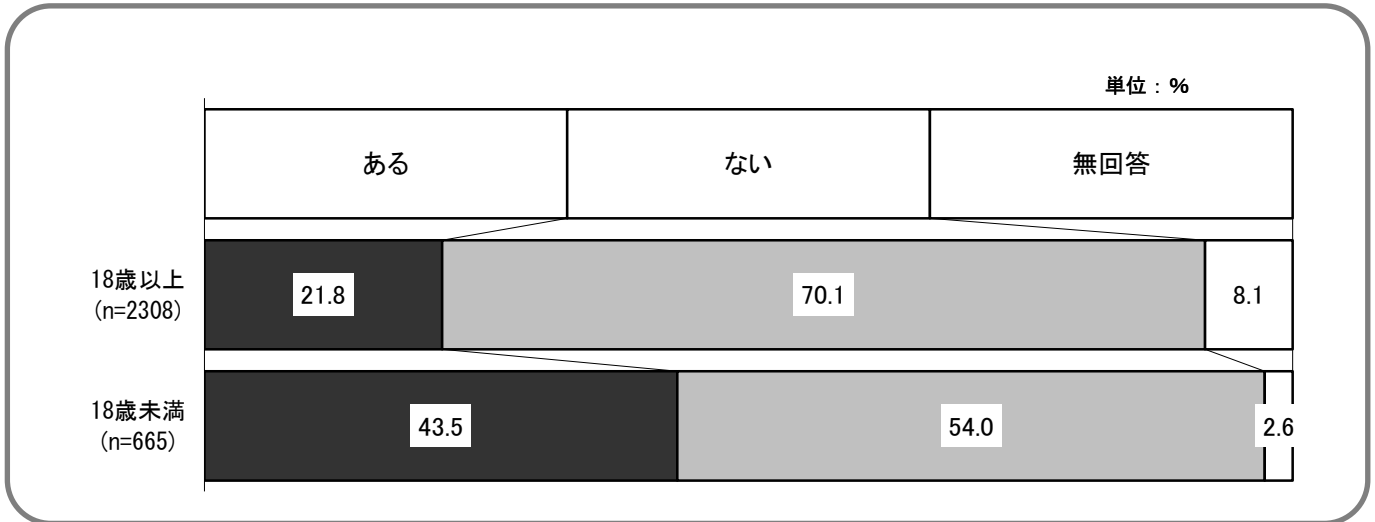


(3) 差別を受けた経験 (18歳以上 問31 / 18歳未満 問30)

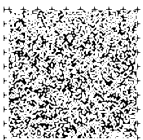
問 あなたは、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。(○は1つ)

● 「ある」と回答した人は18歳以上で21.8%、18歳未満では43.5%。

■ 調査結果



差別を受けた経験について「ある」と回答した方は、18歳以上で21.8%、18歳未満では43.5%となっています。

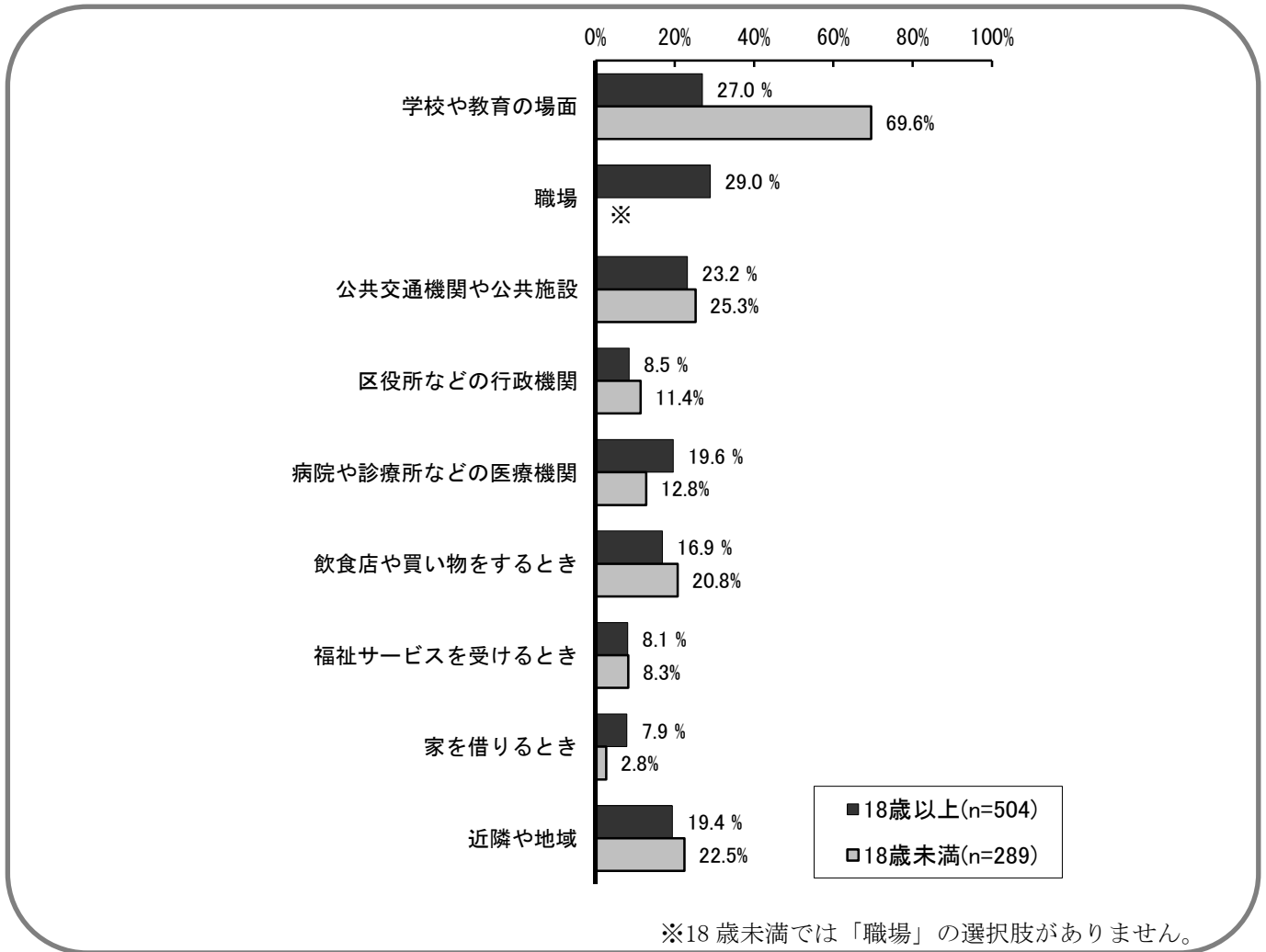


(4) 差別を受けた場所や場面 (18歳以上 問32/18歳未満 問31)

問 (「(3) 差別されたと感じた経験」で「ある」とお答えの方へ) あなたが差別をされたと感じたのは、どのような場所や場面においてですか。(〇はいくつでも)

●18歳以上では「職場」が、18歳未満では「学校や教育の場面」が最も高い。

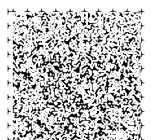
■調査結果 (グラフは主な選択肢)



差別を受けた場面については、18歳以上では「職場」との回答が29.0%で最も高くなっており、次いで「学校や教育の場面」、「公共交通機関や公共施設」などとなっています。

18歳未満では、「学校や教育の場面」との回答が69.6%と最も高くなっており、次いで「公共交通機関や公共施設」、「近隣や地域」などとなっています。

(→詳細な調査結果は18歳以上179ページ、18歳未満195ページ)



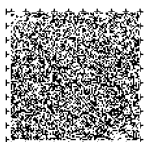
◆年齢別の傾向〈18歳以上／18歳未満〉（単位：％）

	学校や教育の場面	職場	公共交通機関や公共施設	区役所などの行政機関	病院や診療所などの医療機関	飲食店や買い物をするとき	福祉サービスを受けるとき	家を借りるとき	近隣や地域	その他	無回答
0～2歳 (n=14)	50.0	/	42.9	28.6	35.7	42.9	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0
3～5歳 (n=48)	75.0		20.8	20.8	8.3	12.5	12.5	0.0	12.5	8.3	0.0
6～11歳 (n=106)	66.0		19.8	12.3	12.3	18.9	9.4	2.8	23.6	7.5	1.9
12～14歳 (n=51)	70.6		27.5	3.9	15.7	21.6	5.9	2.0	31.4	2.0	0.0
15～17歳 (n=66)	72.7		31.8	6.1	10.6	24.2	6.1	4.5	24.2	7.6	0.0
18～39歳 (n=161)	45.3	28.0	21.7	8.1	21.1	16.8	9.9	7.5	16.8	8.7	1.9
40～64歳 (n=215)	20.9	39.1	22.3	8.4	21.9	16.3	6.0	9.8	19.1	9.3	3.3
65歳以上 (n=124)	14.5	12.9	26.6	8.9	13.7	17.7	9.7	5.6	23.4	14.5	5.6

年齢別にみると、[0～17歳]で「学校や教育の場面」との回答がいずれも半数を超えて高くなっています。

「区役所などの行政機関」では[0～5歳]の回答が2割台と高くなっています。

「公共交通機関や公共施設」、「病院や診療所などの医療機関」、「飲食店や買い物をするとき」では[0～2歳]の回答が各年代で最も高くなっており、保護者等が、障がいのある子どもを抱えての様々な場面での対応に苦慮している状況がうかがえます。



## (5) 差別を受けた内容 (18歳以上 問33/18歳未満 問32)

問 「(3) 差別されたと感じた経験」で「ある」とお答えの方へ「(4) 差別を感じた場面」で受けた経験は、どのような内容でしたか。具体的にお書きください。

### ■記述内容として寄せられた主な意見

※以下の記述は、感じた経験として寄せられた回答について「(4) 差別を感じた場面」の選択肢ごとに分類したものであり、これらの内容が差別に該当するということを示すものではありません。

#### <18歳以上>

##### 1. 学校や教育の場面

- ・いじめ、からかい。
- ・病名を理由に必修の授業を受けられなかった。学校以外の施設の協力が必要だったから。
- ・差別というより偏見。「君は障がい者だからできない、ダメ」など

##### 2. 職場

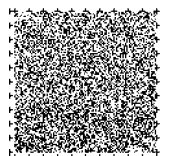
- ・人工透析のため、退勤時間の調整の合意があつたにもかかわらず、上司の異動後は対応がなくなっている
- ・会社におけるレクリエーションや集まり、食事会、旅行にははじめから誘われません。
- ・上司からの暴言、パワハラ等。

##### 3. 公共交通機関や公共施設

- ・バスの運転手に料金の支払いについて誤解を受けた
- ・スムーズな誘導をしてもらえず、困った事がある。白杖を持っているのに書類の記入をうながされた
- ・シルバーカー利用で踏み切りを渡る時、車輪が線路内の溝にはまり動けないときなど人目が気になる

##### 4. 区役所などの行政機関

- ・窓口の方に声をかけられた時答えにこまっていると「日本人ですか?」「日本語わかりますか?」と言われ言葉が出なかったようです。一緒に居た父親が憤慨。
- ・ハローワークで、医師の診断書がないと紹介できないと言われた。その一点張りでした。医師は「お前は普通に働いて大丈夫」とのこと。
- ・職員から、先入観と偏見で決めつけられることがある。自分から話しかけることが苦手なだけなのに人嫌いと言われ孤立させられた。



## 5. 病院や診療所などの医療機関

- ・以前、生活保護を受給していたのですが、「生活保護＝働いていない？」という内容の言葉を医師から質問された。(偏見に近い言葉をかけられた)
- ・病院での診察が一番最後にされた。治療をしてもらえなかった(あばれたら困るからとのこと)
- ・受け入れてもらえる病院が限られる

## 6. 飲食店や買い物をするとき

- ・人の多い場所でぶつかり先にあやまっても非難される。買い物のレジなどで並んでいる人に気付かず割り込み者と販売員にも他の客にも判断される。
- ・高次能機能障害は外見から判断が出来ないため嫌な思いをする事が多々ある。ヘルプカードをつけているが認知度が低い
- ・飲食店の入店を断られた。車椅子だと狭いなどの理由で。

## 7. 福祉サービスを受けるとき

- ・特養を申し込んで、順番が来たので見学に行ったら皮膚病(人に移らない)があるため塗り薬などが多く、無理だと断られた。(2ヶ所の特養で)人手が足りないという理由だった。
- ・補聴器の点検に行った時、すべての人ではないけど迷惑そうにしている人が多い。
- ・デイサービスの職員の私に対する偏った見方。

## 8. 家を借りるとき

- ・保証人がいなくて、精神手帳を持っているため、なかなか部屋を借りられなかった
- ・アパートを借りるとき、精神の病気だと言わないで、別の病気と大家に云うように不動産から云われた
- ・鬱病だと借してくれる大家さんが少ない

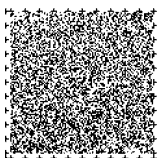
## 9. 近隣や地域

- ・月1回の庭の掃除なのですが、見えないのでただ立っているだけなので出来ないというが、でないダメと言われる。
- ・目が見えないからあいさつをしていないとか無視されるとか言われて偏見をもたれている
- ・地域活動などで出来ることも障害があると云うことでさせてもらえなかった

## <18歳未満>

### 1. 学校や教育の場面

- ・どうせできないだろうという前提で、他の子と同じことをする機会を与えられなかった。
- ・学校の受け入れをことわられた。(対応できないとのこと)



## 2. 公共交通機関や公共施設

- ・公共交通機関の待合で、静かに座っていただけなのに、“障がい者”のタグを見た隣の人があからさまにイヤな顔をして席を立っていった。
- ・電車に乗る時車椅子用スペースをあけてくれなかったり、タイヤをけられたりする。

## 3. 区役所などの行政機関

- ・月齢を書いたシールを貼らせるシステムをやめてほしい。貼るのがつらくて行けなくなった。またそういう母親を何人も知っている。
- ・就学時健診の際、障害児である事を伝えても合理的配慮がなされなかった。親子共々負担が大きく大変だった。

## 4. 病院や診療所などの医療機関

- ・診療で他の子供は診察後シールを先生からもらっているのにうちの子供はもらえない。恐らくもらっても理解出来ないと思われるのだと思う。
- ・大学病院で治療する際に嫌な顔をされた。入院の際、他の人の迷惑になるので個室を希望させられた(自費)医者の方にもよると思いますが。

## 5. 飲食店や買い物をするとき

- ・買物中エレベーターに乗っていたら、お客さんに「こんな大きなベビーカーで乗らないで！」と言われた。バギーが入らないから入店を拒否された。
- ・飲食店で車椅子が入りやすいように少しテーブルを動かしたかったが、断られた。

## 6. 福祉サービスを受けるとき

- ・サービスを利用したいと思って連絡した際「身体不自由児は受け入れてません」と電話でことわられた。
- ・移動支援、支給時間、決定のあり方自体”基本家族が面倒を見る”というのが根底に残っている印象。

## 7. 家を借りるとき

- ・車イス利用で家をかりることができず大変だった。
- ・母子家庭なので部屋を探す際、家賃の心配や子供の声(突然大きな声)などでほとんど断られる。

## 8. 近隣や地域

- ・聞こえない事を相手に伝えても、筆談等に応じてもらえなかった。
- ・遊びの輪の中に入れてもらえない。何もしていなくても(相手に対し)何かするのではという目で見られて距離をおかれる。一緒に遊んだり関わったりする事をさけられる。

